

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 2 月 25 日 (2021.2.25)

【公開番号】特開 2021-557 (P2021-557A)

【公開日】令和 3 年 1 月 7 日 (2021.1.7)

【年通号数】公開・登録公報 2021-001

【出願番号】特願 2020-169774 (P2020-169774)

【国際特許分類】

A 6 1 M 16/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 16/06 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 15 日 (2021.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

周囲空気圧に関して陽圧の空気の流れを、少なくとも患者の鼻孔を含む患者の気道への入口へ、シールして送達するための患者インタフェースであって、前記患者インタフェースは、睡眠障害呼吸を改善するために、患者の睡眠中に、患者の呼吸サイクルを通して、使用中は周囲空気圧より約 4 c m H₂ O から約 3 0 c m H₂ O の範囲で治療圧力を維持するように構成されており、

前記患者インタフェースは；

周囲空気圧を超える治療圧まで加圧可能な呼吸チャンバーを少なくとも部分的に形成するプレナムチャンバーであって、患者による呼吸のために前記治療圧の空気の流れを受け入れるよう寸法付けられかつ構成されたプレナムチャンバー入口を含む、プレナムチャンバーと、

患者の顔のうち患者の気道への入口を囲む領域とともにシールを形成するように構成されかつ配置されたシール形成構造であって、前記治療圧の空気の流れが少なくとも患者の鼻孔の入口へ送達されるように前記シール形成構造に形成される開口を有する、シール形成構造と；

を備えており、

前記プレナムチャンバーは、織物外層と、織物内層と、前記織物外層と前記織物内層との間に配置される発泡体内層と、を備えており、前記織物外層および前記織物内層はそれぞれ前記発泡体内層の反対側の面に結び付けられていることを特徴とする患者インタフェース。

【請求項 2】

前記織物外層および前記織物内層は、熱成形、溶接および / または積層によって前記発泡体内層に結び付けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の患者インタフェース。

【請求項 3】

前記発泡体内層の厚さは前記プレナムチャンバーにわたって変動することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の患者インタフェース。

【請求項 4】

前記プレナムチャンバーの横方向断面視において、前記発泡体内層は、前記プレナムチャンバーの中央部分において相対的に大きな厚さを有しており、かつ前記プレナムチャン

バーの側方端部分において相対的に小さな厚さを有することを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれか一項に記載の患者インタフェース。

【請求項 5】

前記発泡体内層は、前記プレナムチャンバー全体にわたって均等な厚さを有することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の患者インタフェース。

【請求項 6】

前記発泡体内層は、断面において長方形の形状を有することを特徴とする請求項 1、2 および 5 のいずれか一項に記載の患者インタフェース。

【請求項 7】

前記織物外層および前記織物内層はともに、前記発泡体内層を完全に囲んでいることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の患者インタフェース。

【請求項 8】

前記プレナムチャンバーは、空気供給回路との接続のために、前記プレナムチャンバー入口の周りに形成される接続ポートを有することを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の患者インタフェース。

【請求項 9】

前記接続ポートはオーバーモールドによって形成されており、前記オーバーモールドは、前記織物外層と前記織物内層との間の接合部にシーリング機能を提供することを特徴とする請求項 8 に記載の患者インタフェース。

【請求項 10】

前記シール形成構造は、患者の顔の所定の領域とともに前記シールを形成するように構成された織物メンブレンを含むことを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の患者インタフェース。

【請求項 11】

前記織物メンブレンは、前記織物メンブレン上に設けられる空気不透過性材料を含むことを特徴とする請求項 10 に記載の患者インタフェース。

【請求項 12】

前記織物メンブレンは、前記呼吸チャンバーの加圧時に膨らむように構成されていることを特徴とする請求項 10 または 11 に記載の患者インタフェース。

【請求項 13】

前記シール形成構造は、発泡体アンダークッション層を含むことを特徴とする請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の患者インタフェース。

【請求項 14】

患者の顔とシーリング接触するように前記シール形成構造を維持するために、位置決めと安定化構造をさらに備えることを特徴とする請求項 1 から 13 のいずれか一項に記載の患者インタフェース。

【請求項 15】

前記位置決めと安定化構造は、使用時に患者の顔の両側に沿って延在するように構成された一対のサイドストラップを含むことを特徴とする請求項 14 に記載の患者インタフェース。

【請求項 16】

前記サイドストラップは、前記プレナムチャンバーと一体的に形成されていることを特徴とする請求項 15 に記載の患者インタフェース。

【請求項 17】

前記シール形成構造は、患者の鼻の下面とともにシールを形成するように構成されかつ配置されていることを特徴とする請求項 1 から 16 のいずれか一項に記載の患者インタフェース。